

SAVE THE 鶺殿ヨシ原

～雅楽を未来へつなぐ～

NEWS LETTER

2013年
7月号

発行元：
SAVE THE 鶺殿ヨシ原
～雅楽を未来へつなぐ～
実行委員会



★☆☆最新ニュース☆☆★

[Topic1 第2次集約日間近]

鶺殿のヨシを守るための請願署名は、2013年7月31日(水)に第2次集約日を迎えます。現在7万筆を超える署名が集まっており、8月末に国土交通省へ提出して参ります。お手元に用紙をお持ちの方は、ご記入の上、どうぞお送りください。

第2次集約日後も、継続的に雅楽を守る声を国へ届けるため、引き続き署名活動を行っております。第3次集約日は、2013年12月31日(火)となります。

[Topic2 NEXCO「新名神高速道路 鶺殿ヨシ原の環境保全に関する検討会」第2回検討会レポート]

2013年6月23日(日)に、新名神高速道路の建設を請け負うNEXCO西日本関西支社による、「鶺殿ヨシ原の環境保全に関する検討会」が開催されました。1月10日(木)開催の第1回検討会から、約半年ぶりの開催となる検討会を、「SAVE THE 鶺殿ヨシ原」実行委員会事務局スタッフが、傍聴してきました。

なお、この検討会は、検討会規約によると、

(目的)

第2条 検討会は、雅楽で使用される良質なヨシ生育環境の保全と新名神高速道路事業の両立を図るために、専門家等から必要な調査、対策について指導、助言することを目的とする。

とされ、NEXCO西日本に事務局を置き、あくまでも高速道路建築を行うために設置されたものです。

検討会では、現在NEXCO西日本が行っている、筆管用ヨシの自然科学分野の調査について、報告がされました。地質・土壌・地下水位などについて、費用をかけて調査が行われていることは、道路建設計画の見直しを求める署名活動等の成果のひとつです。

検討会中、小山弘道委員(鶺殿ヨシ原研究所所長)により、植物調査について報告がありました。小山委員は、筆管用ヨシが地下茎でつながり、クローン繁殖している可能性について説明した上で、筆管用ヨシの実態はこれから解明されるものであることを強調して、報告を結んでいました。それは、現段階では、ヨシの保全について解決策が見つかるかどうかはわからず、誰も筆管用ヨシの保全を約束することなどできない、ということを意味します。

*小山委員は、鶺殿ヨシ原研究所発行の「鶺殿通信」で、ヨシは地下茎でつながっているため、筆管の蘆舌に適したヨシの一部が傷つけば、全てが消える可能性も起こりえる、と書いた文章を公表しています。

筆管用ヨシに関する調査が行われている、ということだけでは、ヨシは保全されません。「SAVE THE 鶺殿ヨシ原」としては、引き続き、国に次のことを求めています。

- 調査結果が道路建設計画に適切に反映され、計画変更を含む柔軟な対応を行うこと。
- 筆管用ヨシを含む鶺殿のヨシと生態系が保全されること。

[Topic3 6月に署名活動を行った主な公演]

◆大阪楽所 第31回 雅楽演奏会

日にち：2013年6月2日(日) 出演：大阪楽所

◆“伶倫楽遊” 伶楽舎第十一回雅楽演奏会

日にち：2013年6月2日(日) 出演：伶楽舎

◆十二音会 第三十五回公演

日にち：2013年6月22日(土) 出演：十二音会

◆「第12回音楽の祭日」参加演奏会 第8回聲明公演『阿弥陀懺法(呂様)』

日にち：2013年6月23日(日) 出仕：魚山大原流聲明愛好会「梵響座」



鶺殿ヨシ原導水路の模様(2013年7月撮影)

<「SAVE THE 鶺殿ヨシ原」について>

雅楽の楽器「筆管」に必要なヨシの保全のため、新名神高速道路の「鶺殿のヨシ原」にかかる区間の建設計画見直しを求めて、調査、検討、広報活動や、請願署名活動を行っています。

○最新情報や活動の詳細は、こちらからご覧いただけます

▼ウェブサイト <http://www.save-udono.com/>

▼facebook www.facebook.com/SaveTheUdonoYoshihara

↳サイトよりメールマガジンにご登録いただけます！ ▼twitter <https://twitter.com/SaveUdono>

○連絡先「SAVE THE 鶺殿ヨシ原」代表 中川英男(大阪楽所代表理事) info@save-udono.com FAX:06-6351-1774